

一般社団法人管路診断コンサルタント協会

技術副委員長 山下 徹

長野県に本社を置く新日本設計(株)に勤務しております。管診協では技術委員として足掛け 15 年の古参となり、改築工法等研究分科会の部会長を勤めさせていただいております。



地元の工業高校を卒業後、建設省に入省し、仕事をしながら大学に通っていましたが、大学卒業後、現在の会社に転職し 30 年近くが経過します。

私の祖父は上下水道設計会社の創業者であり、私の父は日本で一番の出荷量を誇る味噌メーカーで、長年排水処理の責任者を務めておりました。このことから、上下水道や水処理などの設計を生業とすることについて、技術者としての出来不出来は別として、大変深い縁（えにし）を感じております。

近年、人手不足や、財政難を主因とした、特に中小地方自治体での各種事業立上げや運用に関し難しさを痛感します。今後、コンサルタントは、政策立案や事業立上げを発注者に任せたままではなく、包括的民間委託やコンセッション方式などを通じ、政策や事業のスキーム作りから積極的に関与することが期待されています。

管診協として協会員ほか、皆様の期待に応えるため、技術委員会での活動を通じ、微力ではありますが力を尽くす所存です。